

議員提出議案の概要及び処理結果

9月定例会では、意見書1件、決議3件がそれぞれ提出されました。

その要旨と議決結果は次のとおりとなっています。

「危険ドラッグ」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

提出者 平良 秀之

要旨
危険ドラッグは、大麻や覚せい剤と同様に人体への使用による危険性が強く指摘されている。

厚生労働省は、包括指定を導入し、成分構造が似た物質を一括で指定薬物として規制し、大麻等と同様に単純所持を禁止した。

しかし、指定薬物の認定には数か月を要するほか、危険ドラッグの鑑定に簡易検査方法がないため捜査に時間がかかることが課題とされている。

よって当市議会は、政府において危険ドラッグの根絶に向けた総合的な対策を強化することを求める。

1 販売・流通に関する実態

調査及び健康被害に関する調査研究の推進など人員確保を含めた取締態勢の充実を図ること。

2 鑑定時間の短縮に向けた研究の推進及び指定薬物の認定手続きの簡素化を図ること。

3 危険ドラッグの危険性の周知及び学校等での薬物教育の強化、相談・治療体制の整備を図ること。

(結果) 全会一致で可決

台湾疎開石垣町民遭難事件「尖閣列島戦時遭難事件」に係る遭難者の遺骨収集等の実現を求める要請決議

提出者 伊良皆 高信

要旨

昭和20年、台湾へ疎開するため石垣港から基隆港へ向けて出航した第一千早丸と第五千早丸は、台湾を目前にして、米軍機の機銃掃射に遭い第一千早丸が炎上沈没し、第五千早丸もエンジン破損のため航行不能となり、尖閣諸島の魚釣島に漂着した。

漂着後2週間ほどで食料



新川舟蔵地区に建立されている尖閣列島戦時遭難死没者慰霊之碑

はなくなり、救助船にて救助されるまでの間に栄養不良による衰弱のため、多数の方が亡くなられ岩陰に葬られたと記録されている。

遭難して約50日間の悲惨な状況を思うとき、御霊の安らかなる鎮魂と、二度とこの様な悲劇がないように世界の恒久平和が強く望まれる。そのためにも犠牲になられた方々の遺骨収集並びに現地での慰霊祭が実現しない限り、八重山地域の戦後処理は終わらない。

よって、当市議会は国の責任において次の事項が実現できるように強く要請する。

1 遭難犠牲者の遺骨を早急に収集するため、魚釣島への上陸の許可及び慰霊祭の援助を行なうこと。

2 後世に史実を正確に残す

ための資料収集並びに記録集をまとめ、尖閣諸島遭難者資料館等を建設する慰藉事業を行うこと。

(結果) 賛成多数で可決

沖縄県内離島産農林水産物の沖縄本島への出荷に「農林水産物流通条件不利性解消事業」の適用を求める要請決議

提出者 砥板 芳行

要旨

沖縄県は、平成24年度より沖縄振興特別推進交付金を活用し、県産農林水産物の本土出荷時の輸送費軽減を図る「農林水産物流通条件不利性解消事業」を実施している。

しかしながら、本事業は県内離島から沖縄本島へのお荷は補助の対象とならないため、県内大消費地である沖縄本島出荷の際の流通条件不利性は解消されておらず、厳しい輸送コストの負担を強いられている。

よって当市議会は、沖縄県内離島産農林水産物の沖縄本島への出荷に「農林水産物流通条件不利性解消事業」の適用を強く求める。

(結果) 全会一致で可決

国道390号・道路照明灯における不点灯の解消を求める要請決議

提出者 箕底 用一

要旨

国道390号の道路照明灯は、車両や歩行者の往来が激しい730交差点において不点灯を繰り返しているほか、住宅地が密集する区間においても不点灯が常態化するなど不点灯箇所が多数確認される状況にある。

よって当市議会は、交通安全及び防犯対策の観点から当該路線を管理する沖縄県に対して次の事項について強く要請する。

- 1 交差点及び横断歩道の周辺への照明については、横断歩行者等の状況がわかるよう視認性の確保を図ること。
- 2 夜間における歩行者等の安全かつ円滑な移動のため良好な環境を確保すること。
- 3 故障を繰り返す箇所については、原因を究明し再発防止に努めること。
- 4 維持管理予算の増額を図ること。

(結果) 全会一致で可決